

# 磐田市平成 30 年度予算 付帯決議をつけて賛成多数で可決—私の所見—

2 月定例会最終日の 3 月 22 日（木）、平成 30 年度予算案が賛成多数で可決されました。

その中で個別予算 1 項目に、付帯決議をつけるという当市議会異例の対応が実施されました。

一般会計予算の中で、当局は 5 つの重点優先施策を挙げて計 39 の新規・拡充事業を計上いたしました。その内、子育て支援・教育の充実としてトップに挙げた「中学校入学時の制服等購入支援」（中学生スタートアップ応援事業—3 万円の商品券を対象全世帯に一律支給—）51,950 千円について、趣旨は理解できるも、世代間に様々な意見のある市民の皆様全体へ理解を求める説明が必要として、磐田市議会としては異例の付帯決議を可決いたしました。

## 議案第 6 号 平成 30 年度磐田市一般会計予算に対する附帯決議

少子高齢・人口減少が磐田市において大きな課題であることは市民共通の認識であり、世代間のバランスを考慮した政策を進めることが重要である。とりわけ、経済的負担がかかる子育て世帯を応援することが求められている。

こうした中で、平成 30 年度の新規事業である「中学生スタートアップ応援事業」は、進学に伴う経済的負担が多い世代に対し応援していこうとする事業であり、その趣旨は理解できるものである。

しかしながら、本事業が趣旨に沿って行われるためには、「子育てなら磐田」という意識を市民全員が共有し、「子育て世帯を応援しよう」という気運を醸成することが必要である。

また、今後は財政全体の健全性と公平性を確保しながら、本事業を進めていくことが重要である。そのためにも子育てに関する計画における、本事業の位置づけや全体計画等を示し、市民に丁寧に説明していく必要がある。

よって平成 30 年度磐田市一般会計予算の執行にあたり、中学生スタートアップ応援事業について、下記事項への十分な配慮を求める。

### 記

- 1 事業目的を明確にし、事業内容を精査し、市民に丁寧に説明すること
- 1 事業の目的にあった給付方法と利用可能範囲等を検討すること
- 1 リサイクル事業については、仕組み全体の合理性を高められるよう努めること
- 1 子ども・若者支援の今後のあり方について、財政の世代別支援等の視点で方向性を明確に示し、市民の理解を深めるため、総合計画等に反映すること
- 1 当該事業は小中学生に関する事業であり、運用にあたっては、教育委員会とも情報共有などの連携を図ること
- 1 事業内容について、議会へ速やかに説明するとともに、定期的に事業の検証を行うこと

以上決議する。

平成 30 年 3 月 22 日

磐田市議会

## —私の所見—

子育て世代の経済的負担を軽減し、新一年生になるお祝として対象全世帯に商品券を支給する

とするこの施策は、次の世代にもつながっていくこれからの少子化時代に沿う良い施策だと思いました。所得制限とかそうした区分を考えることを要しない内容だと理解し、制限をつけたり生活困窮者向けとかしたらこの施策の価値は半減してしまうと思料いたしました。

私の子育て時代、長女の制服はご近所のお姉さんから譲り受けたこと、自転車もそして〇〇も購入しないといけない・・・お金がかかる・・・とカミさんとため息をついたことを思い出したものです。

ただし、今回の論議を通じて、市民の代表を自負する各市議会議員故に、様々な考え方を持っている、様々な意見を持つ世代の支援者・市民とともにあるということがよくわかりました。私は自分の考えはスタンダードであろうといつも思って行動しているのですが、政治においては、市民に理解していただく、共感していただくための対応の大事さを理解する機会となりました。そして、今回の議論展開となった背景には、施策をマスコミ発表する前に、市民の代表と自負する議員との意見交換する機会がなかったことにあると考えています。新しい重要な施策については、今後、事前協議を行う場を設けることの議会改善を提言してまいりたいと存じます。

平成 30 年 3 月 23 日 市議会の様子を報ずる静岡新聞

